

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 補正予算概要

令和7年度から制度化された、緊急防災・減災事業債を活用した車両の整備や、利用者環境改善のための青年の家トイレ改修事業、ルクセンブルクパビリオンの再利用の基本計画策定、その他一般会計補正予算(第2号)編成後の情勢の変化等に対応するため、所要の経費について補正を行うもの。

## 2. 補正予算内容

- ・歳入歳出予算それぞれ350,068千円の増  
(補正後の予算総額 歳入歳出それぞれ37,845,985千円)
- ・繰越明許費の設定(4件)
- ・債務負担行為の追加(4件)
- ・地方債の追加、変更及び廃止(追加3件、変更5件、廃止1件)

## 3. 補正予算の財源

- |            |           |
|------------|-----------|
| ・市債        | 142,600千円 |
| ・諸収入(受託事業) | 200,000千円 |
| ・諸収入(その他)  | 3,680千円   |
| ・寄附金       | 1,000千円   |
| ・一般財源      | 2,788千円   |

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

部分休業制度の改正に伴うシステム改修事業

## 2. 事業概要

部分休業制度の変更に伴う人事給与システムの改修を行うもの。

(改正点)

部分休業取得パターンの多様化等

## 3. 歳出関係 (予算書17ページ)

**726千円**

内訳	予算額
委託料	726千円

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称

市役所本館耐震化工事に伴う市民部執務室仮移転事業

2. 事業概要

市役所本館耐震化工事の実施に伴う市民部各課執務室の各種物品及びシステム関連機器、配線等の移転作業を実施する。

3. 歳出関係（予算書17ページ）

3,519千円

内 訳	予算額
物品搬送作業委託料	800千円
窓口受付システム設置委託料 他	2,697千円
FAX回線移設工事	22千円

4. 歳入関係（予算書8、15ページ）

2,400千円

内 訳	予算額
窓口受付システム整備事業債	2,400千円

※窓口受付システムの整備について、デジタル活用推進事業債（充当率90%、交付税措置率50%）の活用を見込む。

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称

公営企業資金運用基金への積立（水道事業会計、下水道事業会計追加受入れ分）

2. 事業概要

公営企業の資金を市の基金に属する資金と一括で運用し、資金の安全性及び運用の効率性を向上させるため、公営企業資金運用基金を設置し実際の運用を開始している。

今般、水道事業会計及び下水道事業会計において未処分利益剰余金処分数額が確定し、公営企業経営の安定を目指して、より企業会計への利息の配分割合を高めるため、追加分の資金を運用委託金として受け入れることから、当該基金に積み立てるための予算計上を行うもの。

3. 歳出関係（予算書17ページ）

**200,000千円**

内 訳	予算額
積立金	200,000千円

【積算根拠】

水道事業資金運用積立金 100,000千円  
 下水道事業資金運用積立金 100,000千円

4. 歳入関係（予算書15ページ）

**200,000千円**

内 訳	予算額
諸収入	200,000千円

【積算根拠】

水道事業受託収入 100,000千円  
 下水道事業受託収入 100,000千円

本資金による新たな債券購入を進めるものではなく、公営企業への利息配分割合を増加させると共に、一括運用する基金の現金割合を増加させ（予算計上済の基金積立金を含め、基金全体の債券比率が70%を下回る見込）、より安定的な資金運用を目指すもの。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

青年の家トイレ改修事業

## 2. 事業概要

当該施設は築40年以上経過しており、経年劣化による老朽化により不具合が発生している青年の家のトイレ改修等を施工するにあたり、工事の実施と工事監理業務を委託するもの。

## 3. 歳出関係（予算書17ページ）

87,404千円

内訳	予算額
委託料	4,175千円
工事請負費	83,229千円

## 4. 歳入関係（予算書9、15ページ）

87,400千円

内訳	予算額
青年の家トイレ改修事業債	87,400千円

※避難施設におけるトイレ環境の改善として、緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税措置率70%）の活用を見込む。

## 【積算根拠】

工事監理：官庁施設の設計業務等積算要領に基づく実施設計書による。

工事：設計者が作成した内訳書を基に予算設定を行った。

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称

ルクセンブルクパビリオン施設再利用に係る基本計画策定業務

2. 事業概要

- ✓ ルクセンブルクパビリオン施設について、第一中学校跡地に、下記の機能を持つ施設として移築するにあたり、施設規模・機能・配置や建設費用などの精査・検討を進め、基本計画として取りまとめるため業務委託するもの。
- ✓ 引き続きG I E等との調整が必要となることから、本業務は企画財政部で予算化するが、施設コンセプトや運用面での詳細は、健やか部と連携・共同して業務を進めていく。

<b>用途・機能</b>	地域全体で子どもや子育て家庭を支援し、安全で安心な子育て環境を整えるため、次の機能を備えた施設とする。 ① 子ども屋内遊戯施設としての機能(主として未就学児を想定) ② 地域子育て支援拠点としての機能(市立地域子育て支援センターの機能移転を含め検討)
<b>再利用手法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幕屋根や外壁、基礎は再利用せず、鉄骨躯体や再利用可能な設備等を用い、可能な限り外観を留め再建築を行う。(部材費用及び本市までの運送費は相手方負担として協議中)</li> <li>・ 基礎や外壁等、新たに施工が必要な部分は、市にて整備する。</li> <li>・ 鉄骨造・平家建て(一つの建物が200㎡以下)、延床面積合計600㎡程度。</li> </ul>

※G I E … 2025大阪万博ルクセンブルク経済利益団体

3. 歳出関係 (予算書17ページ)

12,000千円

内 訳	予算額	備 考
委託費	12,000千円	計画策定業務10,000千円、地質調査業務2,000千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

特別会計への繰出金

## 2. 事業概要

国民健康保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計において、市役所本館耐震化工事に伴い、別館への執務室移転に要する経費を増額補正することから、一般会計が負担すべき金額を増額補正するもの。

## 3. 歳出関係（予算書18ページ）

**4,902千円**

内 訳	予算額
国民健康保険特別会計繰出金	2,559千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	2,343千円

# 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

水道事業 防災用深井戸整備事業に係る財源の組替

## 2. 事業概要

令和7年度当初予算にて水道事業会計で予定していた深井戸21号さく井工事について、防災用深井戸の整備として、本年度から制度化された公営企業の防災対策事業債の活用を予定しており、一般会計からの繰出金に当該事業債を充当する予定としていたところ、大阪府との協議過程の中で、当該事業債を公営企業債として発行することとなったことから、一般会計からの繰出金及び対応する地方債を減額し、水道事業会計で同額を計上するもの。

なお、水道事業会計での事業債発行後、後年度の償還分として、交付税措置の対象となる金額を同会計に繰り出すものであり、当初予算時から実質的な市及び水道事業における負担額について変更はない。

## 3. 歳出関係 (予算書18ページ)

内訳	予算額
水道事業会計繰出金	▲60,000千円

## 4. 歳入関係 (予算書10、15ページ)

内訳	予算額
防災用井戸整備事業(水道事業繰出)債	▲60,000千円

## 5. 地方財政措置について

事業費の1/2が事業債の発行対象額

水道事業会計負担 60,000千円(通常の公営企業債)	公営企業防災対策事業債 60,000千円
-----------------------------	----------------------

事業債の元利償還金相当額が、各年度において一般会計からの繰出金の対象となり、その70%が地方交付税措置される。



議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称

交野市コミュニティバス「おりひめバス」

2. 事業概要

交野市中部・東部ルートにおいて、令和7年3月23日の運行開始から利用者数が増加しており、乗車定員を超えるおそれがある。全ての利用者に対し安定した移動手段を確保するために乗車定員14人のワンボックスカーの確保が必要となることから、所要の経費について予算の補正を行うもの。

3. 歳出関係（予算書18ページ）

**7,331千円**

内訳	予算額
委託料：おりひめバス運行車両ラッピング	1,300千円
備品購入費：車両購入費 一式	6,031千円

4. 歳入関係（予算書8、15ページ）

**6,500千円**

内訳	予算額
コミュニティバス車両購入事業債	6,500千円

※地域活性化事業債（充当率90%、交付税措置率30%）の活用を見込む。

5. 繰越明許費（予算書6ページ）

車両の製造状況等から、年度を越える納期が見込まれるため、全額を繰越明許費として設定する。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

宿泊機能を有する災害用軽自動車の購入

## 2. 事業概要

災害発生直後においては、宿泊施設等の確保が困難であっても支援活動を継続する必要がある、支援する職員の健康管理・疲弊対策の強化と、非常時における機動性の向上を図るため、宿泊機能を有する災害用軽自動車を整備するもの。

また、令和7年度末には、トイレトラックをはじめ、トイレカー2台、シャワートラック、ランドリートラック、給水車2台の計7台の災害用車両を保有することとなるが、これらの車両は、他の自治体が被災した際にも派遣予定であり、今回整備する災害用軽自動車を併用することで、支援活動の自己完結が可能となるなど、多面的な運用を想定している。

そのため、市が保有する災害用車両台数と同数の7台について、緊急防災・減災事業債を活用して整備を行うもので、平時は他の公用車と同様に使用することにより、防災力の強化と併せて、市全体での車両の更新に係る費用の削減を図るもの。

## 3. 歳出関係（予算書19ページ） 18,424千円

備品購入費：2,575千円×7台＝18,025千円

役務費：50千円×7台＝350千円

公課費：7千円×7台＝49千円

内訳	予算額
備品購入費	18,025千円
役務費	350千円
公課費	49千円

## 4. 歳入関係（予算書9、16ページ） 18,400千円

令和7年度から制度化された、緊急防災・減災事業債（当該車両の整備事業に係るもの）を活用する。

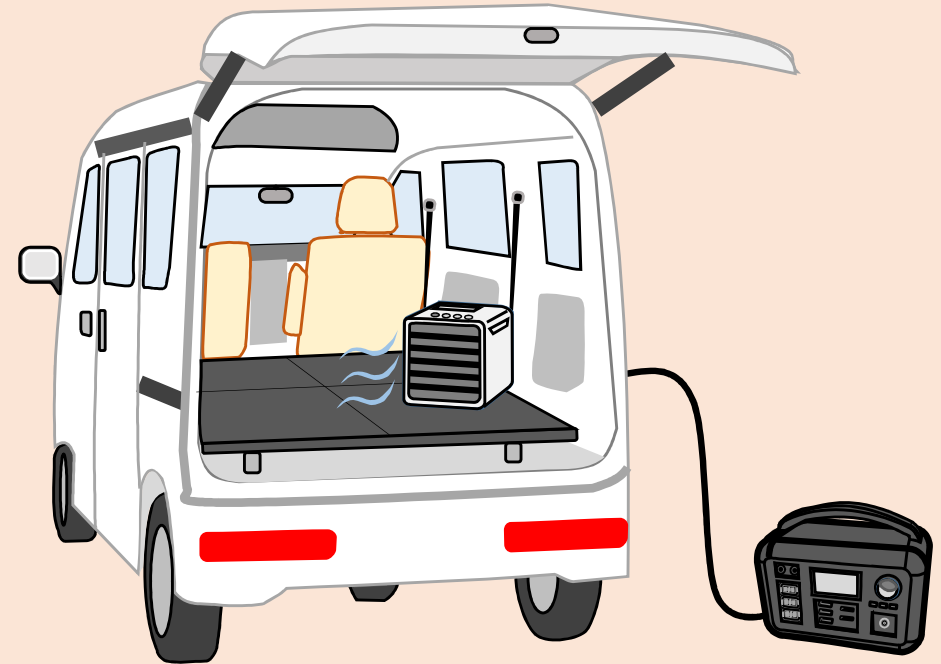
## 5. 繰越明許費（予算書6ページ）

納期が年度を越えることが見込まれるため、全額を繰越明許費として設定する。

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

◆入替対象車両（参考）

取得年度	経過年数	保有台数
平成18年度	19年	1台
平成19年度	18年	1台
平成20年度	17年	3台
平成21年度	16年	9台



※上記14台のうち、老朽化が進んでいる7台の入替を予定。

（緊急防災・減災事業債を活用した際の、車両更新に係る効果額）  
 通常の車両更新 1,500千円×7台=10,500千円（全額一般財源）

事業債の活用 事業費に対する市債額 18,400千円×70%=12,880千円が交付税措置  
 18,424千円－12,880千円=5,544千円が実質的な負担額

10,500千円－5,544千円=4,956千円 を効果額として見込む

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

寺作業所跡地防災公園整備実施設計業務委託

## 2. 事業概要

寺作業所跡地活用に関するスポーツ施設及び防災公園整備の可能性調査を行った結果、市の負担額の軽減を図ることができる有利な事業債について、整備費すべてに活用可能であること、また、元の地形を最大限活用することで全体の事業費を抑えることが可能であるとの調査結果となった。

これにより、寺作業所跡地の活用については、防災公園として整備することに決定したことから、実施設計業務に必要な予算を計上するもの。

## 3. 歳出関係（予算書19ページ）

66,968千円

内訳	予算額
委託料	66,968千円

## 4. 歳入関係（予算書9、15ページ）

66,900千円

内訳	予算額
防災拠点整備事業債	66,900千円

※緊急自然災害防止対策事業債（充当率100%、交付税措置率70%）の活用を見込む。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

Jアラート受信機の購入

## 2. 事業概要

現在運用しているJアラート受信機について、故障によるサポート保守を受けられる期限が迫っており、緊急時の住民伝達に支障を来すことが懸念されるため、令和7年度から8年度にかけての更新が必要であると大阪府から示されている。

今般、近隣市と協調し、緊急防災・減災事業債の現在の期限を見据え、今年度末までの速やかな受信機更新を行うこととなり、関係する予算を計上するもの。

## 3. 歳出関係（予算書19ページ）

5,494千円

内訳	予算額
備品購入費	5,494千円

## 4. 歳入関係（予算書9、16ページ）

5,400千円

内訳	予算額
防災行政無線整備事業債	5,400千円

※緊急防災・減災事業債（充当率100%、交付税措置率70%）の活用を見込む。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

特別支援教育就学奨励費事務に係るシステム構築事業

## 2. 事業概要

現在、同一システムにて事務処理を行っている就学援助事務と特別支援教育就学奨励事務について、就学援助事務のみが地方公共団体情報システムの標準化に関する法律により義務化されたことから、当該事務の円滑かつ確実な執行のため、就学援助と特別支援教育就学奨励の併給確認等を実装したシステムを構築するもの。

なお、このほど就学援助事務のシステム構築要件等が決定されたことから、本システムの構築に要する経費について補正を行うもの。

## 3. 歳出関係（予算書19ページ）

3,300千円

内訳	予算額
委託料	3,300千円

## 【積算根拠】

- ・システム設計・構築費用 2,508千円
- ・作業費等 792千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

財源の組替（有利な地方債の活用）

## 2. 事業概要

当初予算に計上している事業費について、事業内容の整理や大阪府との協議により、有利な地方債の活用が見込まれるものについて、財源として地方債を計上し、一般財源との組替を行うもの。

## 3. 歳入関係（予算書8、9、16ページ）

**15,600千円**

内 訳	予算額	状況等
乙辺浄化センター改修事業債	12,200千円	槽改修事業に一般廃棄物処理事業債の活用を想定していたが、寝屋川市との共同処理に伴う集約化事業債を活用することで、充当率及び交付税措置率が増加するもの。（75%充当、30%措置→90%充当、50%措置）
非常用電源整備事業債	3,400千円	消防本部において緊急的に行った、通信設備に附属する無停電電源装置の整備について、緊急防災・減災事業債の活用を見込むもの。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

消防団員安全装備品整備事業助成金

## 2. 事業概要

消防団員の公務災害防止の目的から、酷暑下での消防団活動において熱中症対策として空調服を導入することに伴い、消防団員等公務災害補償等共済基金に助成金申請し、本市に対し助成することと決定があったため、助成金の受入について予算計上を行うもの。

## 3. 歳入関係（予算書15ページ）

**3,680千円**

内訳	補正予算額
諸収入（消防団員安全装備品整備等助成金）	3,680千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

企業版ふるさと納税の受入

## 2. 事業概要

総合厨房機器メーカーの株式会社中西製作所より、社会貢献活動の一環としてボール遊び広場整備事業に対し、企業版ふるさと納税の寄附申出があり、受入を行ったことから歳入予算として計上するもの。

(寄附日：令和7年5月30日)

## 3. 歳入関係（予算書15ページ）

**1,000千円**

内訳	予算額
企業版ふるさと納税寄附金	1,000千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

繰越明許費の設定（総合体育施設メインアリーナ特定天井・空調設備等改修事業）

## 2. 事業概要

メインアリーナの天井材設置部分（膜天井部は除く）の取替及び天井材部分裏に設置してある空調設備の取替工事並びに工事に係る監理業務委託。

## 3. 繰越明許費の額等（予算書6ページ）

款) 総務費 項) 総務管理費

280,300千円

工事 繰越金額：268,700千円（予算額406,000千円から前払金137,300千円を差し引いたもの）

工事監理業務委託 繰越金額：11,600千円

## 4. 繰越理由

工事の本契約締結後、現場での打ち合わせ等と並行し、正式に空調機器メーカーに機材を発注したところ、当初想定していた納期が大幅に延びることが判明した。市としても可能な限り当初工期内での施工を業者と共に調整したが、機器の納期や設置工法を考慮すると当初の工期である令和7年度内での工事完了が困難になった為、繰越を行うもの。

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称

繰越明許費の設定 (旧交野市立第一中学校校舎解体事業)

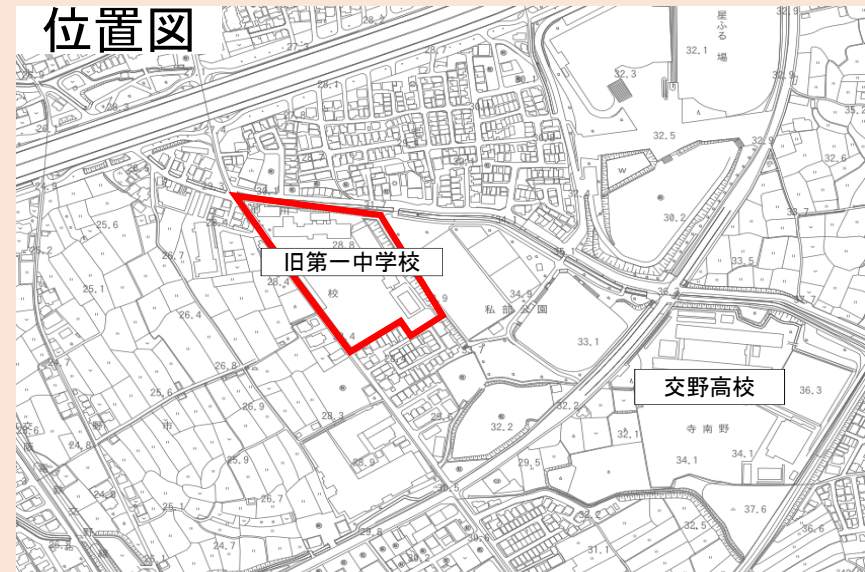
2. 事業概要

旧交野市立第一中学校は、交野市防災拠点整備指針において「その他の防災拠点」に位置付けられている。交野みらい学園の開校に現校舎の解体が必須であり、解体後は、防災施設の整備を行うもの。

3. 繰越明許の額等 (予算書6ページ)

**667,120千円**

内訳	予算額
工事費	662,000千円
委託料	5,120千円
合計	667,120千円



4. 繰越理由

解体工事設計業務に想定よりも時間を要したことに伴い、解体工事が年度内の完了が見込めないため予算繰越するもの。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

1. 事業名称 集団健(検)診(がん検診・すこやか健診等)業務委託
2. 事業概要 現在実施している集団健(検)診(がん検診・すこやか健診等)の事業は、令和5年度から令和7年度までの契約期間となっており、令和8年3月末で契約が終了する。令和8年度から令和10年度までの期間に実施するがん検診等の事業について、令和8年度当初から円滑に開始できるよう、令和7年度中に委託業者の選定を行うもの。
3. 債務負担関係(予算書7、20ページ)

**178,616千円**

内訳	期間	限度額
集団健(検)診(がん検診・すこやか健診等)業務委託	令和10年度まで	178,616千円

※積算根拠

検診業務費(胃、肺、大腸、乳、子宮、前立腺、肝炎、胃リスク・すこやか健診)	152,715千円
事務費等(予約受付、郵送料、問診表等)	25,901千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

基幹相談支援センター事業

## 2. 事業概要

障害者総合支援法第77条の2に基づき、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい種別や各種ニーズに対応する、総合的・専門的相談機能、権利擁護・虐待防止機能、地域移行・定着支援機能、自立支援協議会の運営、地域の相談支援体制強化の取組み等の業務について、事業者に委託するもの。次年度からの事業開始にあたり、今年度中に事業者選定を行う。

## 3. 債務負担関係（予算書7、20ページ）

36,336千円

内訳	期間	限度額
基幹相談支援センター事業業務委託に係る債務負担	令和10年度まで	36,336千円

※財源として、国（1/2）及び府（1/4）からの交付金（重層的支援体制整備事業交付金）を見込む。

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

交野市立乙辺浄化センター運転管理等業務委託

## 2. 事業概要

令和4年度から開始した、交野市立乙辺浄化センターの運転管理等の業務委託について、令和8年度が契約更新時期となり、設備の運転及び管理、処理工程の習熟等、その専門的業務に係る次期委託契約者との引継ぎに一定期間を要する為、年内の入札執行を見込み、補正予算により債務負担行為を設定する。

## 3. 債務負担関係（予算書7、20ページ）

**30,129千円**

内訳	期間	限度額
交野市立乙辺浄化センター運転管理等業務委託に係る債務負担	令和10年度まで	30,129千円

## 議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

## 1. 事業名称

本庁舎敷地等の境界確定業務

## 2. 事業概要

現在、本庁舎の敷地は、市有地と個人所有地の借地が混在しているため、本庁舎耐震・設備等改修工事後、20～30年間の継続利用を前提として、まずは境界を確定し、今後の敷地のあり方について検討する。

なお、庁舎の敷地の賃貸借が令和8年度末で10年間の契約期間満了となることから、次期契約の前（令和8年上半期を目途）に境界確定を行い、地権者との協議を行う。

また、わかばこども園分室敷地として、貸付中の市有地（普通財産）についても別館の隣接地であることから併せて境界確定を行う。

## 3. 債務負担関係（予算書7、20ページ）

4, 838千円

事項	期間	限度額
本庁舎敷地等の境界確定業務に係る債務負担	令和8年度まで	4, 838千円

## 【内訳】

(行政財産)

①本館分：2, 566千円

②別館分：1, 856千円

(普通財産)

③わかばこども園分室敷地分：416千円

議案第77号 令和7年度交野市一般会計補正予算(第3号)について

4. 事業期間

令和7年10月～令和8年9月末(予定)

5. 事業対象範囲(敷地全体図)

